

甌島の北東端部を西側に望む
 図Cでやりとり中の森さん。
 本島との間を強い本流域が南北に通して
 その引かれ潮も強い



日高さん



森さん



取材協力/
 蝶栄丸(串木野港)石原船長TEL0996-33-1169
 フィッシング南海(鹿児島市)TEL099-252-8993



当日は際寄りでおナガの気配もけっこうあった。数回急襲された中神さんだった



怖かったろう！サメに襲われるなんて…美味しく食べて上げるからね！

クロの背どしにはサメに噛まれた痕が



ゆっくりと銃竿して磯を洗い流して帰ります

もまた良型を掛けたが。どこも単発的なアタリが多い感じだ。9時からはB点に移動した野間さんだったが、上潮は強風で波立ち滑っていた。底潮も同じ方向に南下気味で潜るような潮ではなかった。潜る潮があれば、0号など軽めもいいが、3Bのウキに4ヒロほどのタナそのままで、やや強制的に仕掛けを入れ込み、A点からの流れと北側からの流れが合流する潮目付近で良型連発！重めの仕掛けが上滑りの潮を突破して、クロのタナへ導いた。

そして入れ喰いモードに！となるはずだったのだが、全長3mはあろうかというサメが、やり取り中にクロをガブリと噛み瀬際で反転して行った。朝から海の様子が変わってエサ盗りも見えず喰いが渋い訳がようやく分った。サメが回避していたのだ。これからまた、海はしばし沈黙となり、納竿のお昼頃まで、



木下さん



古園さん

ポツリポツリという釣果となった。マキエに群ればサメが出てきたりとクロも大変だったことだろうか。当日、他の瀬ではムラも見られたものの、良型7〜8尾ほどの釣果が見られていた。



後日、爆釣報も入るなど、まだまだ十分クロ釣りが楽しみで、このまま梅雨グロ季までイケる里一帯である。